

2022 年度の主な事業報告

社会福祉法人名南子どもの家

1. 社会福祉事業

(1) 2022 年度は、定款及び事業計画に基づき子どもたちの安心・安全を守り、父母、そして地域から信頼される福祉施設をめざし、次の第 2 種社会福祉事業をすすめました。

- 1) 保育所の経営
- 2) 小規模保育事業 A 型の経営
- 3) 地域子育て支援拠点事業の経営

※2022 年 12 月 22 日定款変更をし、第 7 章公益を目的とする事業 第 38 条 障害児通所支援事業を加えました。

(2) 事業の実践内容

- 1) 評議員会 3 回、理事会 13 回、監事会 1 回を開催しました。
- 2) 新型コロナウイルス感染症対策は前年に引き続き年間通して、感染対策を法人職員全員で実践し、保育を継続しました。年度の後半は遠足や公開保育、卒園式等感染対策を充分行い、実施しました。
- 3) 法人の経営基盤の強化を図り、各事業の運営・経営をすすめました。
 - ①健全財政に努め、将来に備え、施設整備や改修のための積立金を確保しました。
 - ②借入金償還計画にもとづき、計画通り償還しました。
 - ③社会福祉充実残高は非該当です。
- 4) 2020 年から検討してきた新規事業として、児童発達支援、放課後等デイサービスの多機能型事業を 2023 年 3 月 1 日開所しました。
- 5) 2022 年 11 月 3 日ほしごき保育園の休日保育で不適切保育が発生しました。理事会、法人管理部会議、法人職員会議、各園職員会議において、発生した原因、問題点、を明らかにし、それぞれの保育を振り返り、具体的な再発防止策を出しました。名古屋市の指導を受け、改善点への対応をし、人権擁護についての研修を実施し、2023 年度の重点課題にし、実践を続けています。
- 6) みよし保育園の外部改修工事、あいかわ保育園の 2 歳から 5 歳の異年齢保育実施の為に施設改修を実施しました。
- 7) 地域子育て支援拠点事業所を活用した取り組みを開催しました。
 - ①コロナ対策をしっかりと行い、高齢者のにこにこサロンを年間 11 回実施しました。
 - ②地域の「将棋と卓球同好会」や地域のサークルの集まり等利用が定着しています。
- 6) 各保育施設は運営を安定させました。
 - ①各園、年度当初は 0 歳児が定員割れしていましたが、年度内には充足しました。
 - ②子どもの人権を守り、保育の質の向上、保育内容の充実に努めました。
 - ③子育て支援の充実をはかり、園内外の子育て支援がすすみました。
 - ④子どもの安心・安全を守るための防災・防犯対策、危機管理意識をたかめる取り組みを実施しました。
 - ⑥各施設、修繕、備品購入計画及び環境向上推進計画に基づき、順次施設修繕、備品の整備を行いました。
 - ⑦ホームページを利用される方からの、入所相談、子育て相談があります。
- 7) 収益事業 非該当です。